

委員会が行う主な取組み

時代を切り拓く力の育成

「生きる力」を育む放課後の活力強化

すべての子どもがイキイキと育つ環境づくりのため、放課後の校庭等を活用し、子どもが主体的に、多様な体験(遊び)ができる「放課後アソビバ」をモデル的に実施します(6校)。



Kitakyuスーガク+(プラス)による理工系人材育成推進

「数学の問題を解く楽しさ」を味わわせ、将来、北九州市を支える理工系人材の育成に繋げるため、中学生を対象に数学的思考力等を競い合う「スー1★GP(スーワングランプリ)」を開催します。



【予告】スー1★GP

- 概要
同じ中学校に通う生徒が3名1組で力を合わせ難問に挑み、解答数やスピードを競います。
- 開催日
令和6年1月21日(日)(予定)
- 場所
スペースLABO(予定)
※申込方法、正式な場所・日時など、詳細は10月頃、北九州市HPに掲載します。

子どもの“健口力”(けんこうりょく)アップ事業

令和4年3月に策定した「学校における歯と口の健康づくり推進計画」に基づき、子どもの“健口力”向上を図るため、フッ化物洗口によるむし歯予防、歯みがきや生活習慣の指導、むし歯治療の促進、保護者への啓発等の取組を実施します。



医療的ケア児総合支援事業

事業の目的

医療的ケア児支援法の施行(令和3年9月)を踏まえ、市立学校に通う医療的ケア児が安心して学校生活を送れるようにするとともに、家族の負担軽減を図るため、医療的ケア学校コーディネーターや看護師の配置、通学支援を行うなど、医療的ケア児のさらなる支援体制の構築を目指します。

主な事業内容

①医療的ケア児の在籍する学校における支援体制の強化(看護師増員)

医療的ケア児の在籍する小・中学校等に看護師を配置するとともに、特別支援学校の看護師を増員することで、安心、安全な医療的ケアの実施や家族の負担軽減に努めます。

②看護師が同乗する福祉タクシーによる通学支援

特別支援学校では、広域から通学する児童生徒のためにスクールバスを運行しています。一方、走行中のスクールバス車内で安全に医療的ケアを行うことができないため、スクールバスでの通学が困難な医療的ケア児^(*)について、家族の付き添いなしで通学できるよう、看護師が同乗する福祉タクシーによる通学支援を実施し、家族の負担軽減に取り組みます。

※医療的ケア児…たんの吸引などの医療的ケアが日常的に必要な児童生徒



©ていたん&ブラックていたん,北九州市



未来を見据えた環境整備

「学校におけるICT活用推進に向けた連携協定」について

「情報活用能力の育成」「シビックプライドの醸成」「教育現場における地図の活用とプロモーション」等を目的として、地元企業のZENRIN(ゼンリン)と「学校におけるICT活用推進に向けた連携協定」を(令和5年3月8日)に締結しました。

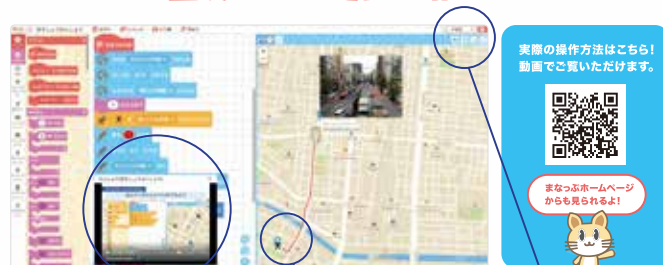
本協定により、本市の小・中・特別支援学校でZENRINが開発した教材「まなっぷ」を使ったプログラミング教育にご協力いただけることになりました。

今後も様々な機会を活用し、子どもたちの学習環境の整備に取り組んでまいります。

まなっぷの使い方

地図上に登録したポイント間で経路に沿って線を引くことができます。また、キャラクターや写真、コメントを表示するなど、プログラミングによって地図上に様々な表現を行うことが可能です。

ブロックをパズル感覚で組み合わせることで、自分だけの地図が作れる!



- ポイント1 チュートリアル機能付き
基本的な機能を動画で学べます
- ポイント2 4種類の地図や様々な地図記号が使える
白地図 航空地図 通常地図 標高地図
X 田 田 田 文
交番 病院 郵便局 寺院 小中学校
- ポイント3 学年に応じた漢字表示を選べる

※ZENRINより、資料を使用する許諾を得ています。